

衆議院議員選挙の結果について

2014年12月15日
電気事業連合会
会長 八木 誠

このたびの衆議院議員選挙の結果、与党が過半数を大幅に上回る議席を獲得したことは、デフレ脱却・経済再生をはじめとした現政権の路線に対する信任であり、引き続き迅速かつ着実に政策を推進していくことへの国民の期待の表れであると受け止めている。

震災復興はもとより、経済再生、財政・社会保障制度改革、さらには、エネルギー問題や外交・安全保障問題など、我が国の重要課題に対し、引き続き与党が政治のリーダーシップを発揮することにより、着実に対策を推し進めていただくことを期待する。

特にエネルギー政策は、国民生活や経済活動に関わる国の基幹政策であり、エネルギー資源に乏しいわが国においては、原子力も含めたエネルギー資源の多様性と安全の確保を大前提とした3E（安定供給、経済性、環境適合性）の同時達成を目指すことが重要であると考えます。

現在、我が国にとって大変重要な複数のエネルギー政策議論が並行して行われているところであり、引き続き、これらの議論を整合的に進め、首尾一貫したエネルギー政策を展開いただくようお願いしたい。

以 上